

進路便り

令和8年2月27日
進路指導部 No. 8
都立港特別支援学校長 岡戸 良雄
発行 進路指導部

寒さの中にも春の訪れを感じられる季節となりました。早いもので今年度も残り一か月となりました。一年の良い締めくくりができるよう、引き続き体調管理をよろしくお願ひします。

本号では、普通科保護者向け企業見学会、普通科1年第2回職場見学、職能開発科1年現場実習の様子をお伝えします。

■普通科保護者向け企業見学会 報告

2月17日（火）に株式会社ゼンショービジネスサポートにて見学会を行いました。

この企業は日本全国に外食の店舗を展開しているゼンショーグループの特例子会社として設立し、業務内容としてデータ入力や軽作業、社内便などを行っています。

100名を超える障害のある方が活躍されていて、特別支援学校の卒業生が多いことや知的障害のある方が多い職場環境でした。

また、同グループの株式会社ゼンショーストアサポートの飲食厨房業務や清掃業務についても説明があり、障害者雇用への取り組みにおける今後の展望など、多くの情報を得ることができました。

見学の際は保護者の方からもたくさんの質問が出ており、充実した見学会となりました。

■普通科1年 第2回職場見学 報告

2月6日（金）に2回目の職場見学に行きました。福祉事業所コースは、目黒区のしいの実社、大田区の大田福祉作業所と大田福祉工場を見学させていただきました。パンなどの製造・販売、機織り機を使って製品を作っている様子や企業等から受注した大量の部品を取り扱っている様子や印刷に関わる仕事の様子を見学することができました。さらに、それぞれの事業所で作業体験に取り組み、具体的なイメージをもつことができました。

企業コースでは、株式会社ドコモ・プラスハーティ（清掃）、株式会社ライフコーポレーション（小売・販売）、株式会社新日東電化（製造）を見学させていただきました。

今年度2回の見学を通して、生徒の方から進路についての話をしたり、日々の授業に身が入る生徒がいたり、良い刺激を受けることができました。まだ、それぞれの目標はぼんやりとしています。が、日々の学習に意欲的に取り組み、いざ目標が定まった時に力を発揮できるよう、これからも支援して参ります。

■職能開発科1年 現場実習 報告

職能開発科1年生は、2月17日から2月20日の期間で現場実習を行いました。実習にあたって生徒たちは、『失敗したらどうしよう…』『ミスしたらクレームがくるのかな…』と不安と緊張でいっぱいでした。今後の実習も同様ですが、現場実習は仕事が完璧にできるかどうかは重要ではありません。大事なことはいろいろな仕事に積極的にチャレンジすることが重要です。もし上手くできなかったとしても、次はどのようにすれば良いか担任の先生と一緒に考え、日頃の学校の授業で取り組んでいきましょう。きっと、できなかったこともできるようになります。学校で取り組んだことを実習でチャレンジする。うまくできなかったことを分析し、学校の授業で何に取り組むかを考えるサイクルが皆さんの成長につながります。これからは失敗を恐れずにたくさんのチャレンジをしていきましょう。

保護者の皆様も、通勤経路の確認や実習中のお弁当の準備など御協力いただき、ありがとうございました。